

# 「フードバレーとがち」のこれまでの取り組みと事業者の主な動き(H22～H24)

## 農林漁業を成長産業にする

### ＜とがち農家6千戸で 食の安全・安心に取り組む＞

- 農業生産工程管理手法である十勝型GAPの導入（H24 小麦は管内全農協で導入。安全・安心な農産物の生産・出荷の促進）
- 大手企業と連携した新規作物の試験栽培
  - ・大手外食チェーンと連携して加工用玉ねぎの品種試験及び資材施用実証試験を実施
  - ・大手食品加工企業への出荷が可能なトマト品種の栽培実証試験を実施
  - ・大手医薬品企業と連携して新たな薬草の栽培試験を実施
  - ・やまのいもの種子の増殖や栽培調査を実施し現場への導入を促進(H24)
- 日本能率コンサルティングによる経営アドバイス（H23～ 実証実施）

### ＜安全でおいしい農畜産物の生産を推進＞

- 嫌気性発酵堆肥の製造・施用試験の実施（H24 コストや労力の低減など有効性の検証等）
- 減肥・減農薬など環境保全型農業の促進（H23: 延べ17戸、約102ha→H24: 延べ24戸、約185ha）
- 地域コントラクターへの支援による自給飼料の品質向上（飼料用トウモロコシの収穫作業が2台から3台体制。収穫期間の短縮による適期収穫が可能に）
- 超強力系小麦「ゆめちから」の乾燥調整施設の整備（品種の多様化による産地のさらなる競争力強化）
- 長いも製品保管出荷施設の整備（HACCP対応施設、品質管理の向上）

### ＜海外展開のリーディングプレイヤーを育てる＞

- 国の支援措置を活用し、事業者等の海外展開が加速化（H23～中小企業家同友会の東南アジア販路開拓 H24: 帯広みやげ名店会協同組合の台湾・シンガポールアンテナショップ開設準備）
- 十勝の支援機関が連携して海外展開を促進する「十勝海外展開連絡会議」を設置
- 商工会議所が原産地証明等手続き窓口を開設(H24.9～)
- TAMA協会を通じて首都圏・海外への販路拡大を支援（H22 業務用惣菜調理加工会社→上海企業(漬物、短期) H23 情報処理会社→首都圏企業(ハスカップドリンク、短期) H24 市内農家→首都圏企業(ラズベリー、継続中)）

### ＜とがち農業・農畜産物・加工品の魅力を売り込む＞

- 十勝農業の取り組み等を紹介した「とがち農業ストーリー」の作成(H24.3)
- 十勝の農畜産物やその加工品などの地域資源のデータベース化
- 十勝食材を小ロットで首都圏・海外へ輸送するシステムの構築（ヤマトホームコンビニエンス、物流と商流を一元化）
- 「FOODEX JAPAN」に出展し成約（H22 61件成約、H23 61件成約）
- JAL国際線ファースト・エグゼクティブクラスで十勝産チーズを提供（共働学舎、十勝野フロマージュ、さらべつチーズ工房、ハッピーネス・デーリィ、ランランファーム）
- APカンパニー（新得塚田農場）へ食材提供（インカのめざめ、ラクレット、ゆり根等）
- 民間主体の小麦関連産業見学・農業体験ツアーの造成(H23～)
- 本州大手味噌メーカーと管内農協が十勝産大豆の直接取引が成立(H23、H24)

### ＜新品種・新技術を活かす＞

- 温泉水を利用した真冬のマンゴー栽培の事業化(H22)
- 農業生産法人によるホウレンソウ大規模水耕栽培施設の整備(H23)
- 生産者・加工業者向け各種セミナーの開催（全国えだまめサミット、日本フードシステム学会、北海道地域マッチングフォーラム、ポテトフォーラム、十勝農学談話会等）
- ICT農業を推進する研究事業が展開
  - ・精密農業アジア会議inおびひろ(H23.7)
  - ・IT農業推進セミナー・農業ロボット実演(H23.11)
  - ・航空宇宙関連企業と連携して衛星画像を活用した試験事業の実施

### ＜畑を科学し、土を元気にする＞

- 関連企業や試験研究機関と「低コスト施肥技術体系確立事業協議会」設立（H24.5 施肥量低減技術等の開発）
- 土壌分析の支援による適正施肥管理の促進（5,015件 コストや労力、環境負荷の低減）
- 飼料分析の調査結果を踏まえた個別の技術指導による自給飼料の生産性向上（調査件数: 草地19件、飼料用トウモロコシ21件）

### ＜プラットフォーム機能の整備＞

- オール十勝で取り組むための枠組構築(H23.7)（十勝定住自立圏形成、推進協議会設立）
- 基本方向を示す推進・戦略プラン策定（H24.3～）
- 周知を図るためロゴマークの公募・決定（H23.9）
- 推進協議会のHP等による情報発信（H23.12）
- 推進協議会と管内金融機関との連携協定の締結（H24.7）
- 商工会議所が産業政策委員会を設置

- 大手給食配送サービス業者と市内食品製造業者の商品取引開始（ハヤシライス、野菜スープ、味噌の通年取引開始）
- 経団連、道経連の視察実施(H24)
- 土幌高校が南商業高校と連携して地元食材で商品開発(H24)
- 首都圏ホテルと管内生産者9社の取引を行い十勝グルメフェアを開催（14商品取引）
- 首都圏ホテルと管内乳製品メーカー3社が直営ショップ通年販売で取引開始（複数商品取引）
- 首都圏ホテルの記念式典会食に肉製品・乳製品を中心に十勝食材を売込み採用(8社 11商品をスポット取引)
- 道内リゾートホテルと豚肉製品及び乳製品の2社が取引開始（複数商品取引）
- 首都圏の飲食店12店と農畜産製品の生産販売を行う18社が取引開始（通年取引6件 スポット取引18件）
- 関西の飲食店と農畜産製品の生産販売を行う2社が取引成立（通年取引1件 スポット取引1件）
- 首都圏食品卸と十勝の農畜産製品生産販売会社が通年販売開始
- 老舗飲食店5社が「とがちふー俱樂部」創設（藤森、六花亭、はげ天、丸福、レストランホーム）
- 管内3漁協、帯広地方卸売市場、帯広物産協会等による「十勝産マツカワの消費拡大プロジェクト」設立(H24.10)

### ＜十勝のブランド力を高める＞

- 市内和牛飼養農家の素牛売却価格が市場平均越え
- 十勝和牛素牛マニュアル認定牛が高額で流通
- 市内農協の十勝和牛素牛「マニュアル参加牛」割合増加（H24.3 全出荷農家26戸303頭中、19戸110頭）
- ブランド認証機構の認証項目に菓子を追加

### ＜魅力ある商品を開発する・食の付加価値を高める＞

- 「とがちデザインファームプロジェクト」がグッドデザイン賞を受賞（フレーバー、ガクデザイン）
- ものづくり総合支援補助金で11件事業採択(10件商品化)
  - H21 十勝冷凍食品・芋もち
  - H22 ホクコー・カラフル点心、ときいろファーム・ベリー加工品
  - H22 鎌田商事・とがちマッシュ加工品
  - ときいろファーム・ベリー(葉・種等)加工品
  - ウィネット・十勝産ハスカップを使用したサプリメント開発
  - H23 中田食品・おからせんべい、ズコーシヤ・カラーチーズ
  - H24 3件(予定)
- 文部科学省「地域イノベーション戦略支援プログラム」の活用による機能性素材を使用した新商品開発（とがち財団: 抹茶オーレ、小豆オーレ など）
- 十勝初のロール式製粉工場の稼働(H23 山本忠信商店)
- 敷島製パン協力で帯広畜産大学内に製パン実験施設完成(H24)
- 六次産業化の推進（農村レストラン「K'sファーム」など）

## プラットフォーム

### ＜国際戦略総合特区のメリットを活用する＞

- 国際戦略総合特区の指定(H23.12)
  - ・規制緩和: 農産物貯蔵庫などの防火区画の設置の緩和、消防設備の代替設備、農業用貨物自動車の車検期間延長
  - ・税制支援: 長いもの製品保管出荷施設など管内8事業者が投資税額控除の認定
  - ・金融支援: 冷凍枝豆の貯蔵施設など管内の6事業者
  - ・財政支援: コントラクターが使用する機械の支援対象拡大

## 十勝の魅力を売り込む

- 大手IT関連企業と十勝管内農家が連携し野菜の直売サイトで販売開始
- 十勝管内の産直マップの作成
- 軽トラ市の拡大(テキサス本店、どんどん店、まちなか産直市)

### ＜とがち観光を世界に売り込む＞

- 中国（上海、北京）へのトップセールス(4回)
- 中国最大の旅行雑誌社「時尚旅游」を招聘(H22～十勝の食と観光の特集記事を3回掲載。読者ツアー造成)
- 中国旅行専門テレビ局「旅游衛視」を招聘(H22～2時間番組を制作・放送)
- 台湾のテレビで十勝の観光をPR(H24.7 台湾2回、シンガポール、北米、香港4回放送)
- 中国・台湾等旅行エージェントを招聘(H22～ツアー造成の要請)
- 観光事業者、JICと台湾観光プロモーション実施(H23.7)
- 中国・台湾からチャーター便就航(H23:55便、H24:138便)
- 中国（天津）の旅行博覧会に出展（H23.9 日中韓観光協力機構の理事長が来勝）
- シンガポールへのトップセールス（H24.2 シンガポールからの個人型ツアー造成）
- シンガポール観光物産プロモーション実施(H24.10～11)

## 食の価値を創出する

- 地場農産物を加工販売する農家等の増加（マッコリなど）
- 企業立地補助金を通じ延べ7件の工場等が新増設
  - 乳製品など食品製造工場 4件
  - 保管倉庫・冷蔵庫など 3件
- 「長いもシフォンケーキ」製造販売（JA大正青年部と「あくつ」のコラボ）
- 市内農協が自ら商品開発、製造、流通をコーディネート（長いもヨーグルト）
- 市内の農業・薬局・飲食店が連携した食・農・医連携型の新商品開発（トニシファーム、まつもと薬局、オランジュ黒にんにく使用の新商品）
- 地元食材を使用した新たな商品開発（とがち牛じゃん麺、十勝じゃが麺、十勝ポロネーゼ、しゃろкке、とがちアヒージョ）
- 十勝産食材を使った「十勝創作寿司」のメニュー化（三ツ星レストランシステム 回転寿し「なごやか亭」）
- 新しいスタイルの十勝型洋食を提案する「十勝フードバレーを考えるシェフの会」の設立（十勝農園、ビストロコムニ、十勝ヒルズ、北海道ホテル、十勝トテッポ工房 など）
- 十勝で農村ホームスティの受入れを行う「NPO法人食の絆を育む会」の設立
- ベーカーリーキャンプの講師と満寿屋商店が連携した商品開発(トカチノクグロフ、トカチノシユトレ)
- 大手外食チェーンが大樹町の自社牧場で生産した牛肉を使用したレトルトカレーの販売開始(H23.11～)

### ＜未来を担う人を育てる＞

- 食・農関連での事業化等を目指すリーダー人材の養成（フードバレーとがち人材育成事業等）
- 生産者と商工業者等が連携した海外視察の実施(H25.2)
- フードバレーとがちの周知を図る講演会開催(15回)
- 十勝管内の農業者を対象とした合同研修会の開催<その他>
- アース環境サービス、三菱電機北海道支社の市内営業所開設

### ＜とがちを首都圏にまると売り込む＞

- 敷島製パンとのタイアップによる「とがちなかち」イメージアップキャンペーン(H24.9 JR山手線1編成(11両)に中吊広告)
- 首都圏イベントで十勝観光をPR(H24 マルシェ・ジャポン、北海道フェアin代々木、横浜タカシマヤ、東京ドームホテル)
- 首都圏旅行エージェントに対し北海道・十勝の魅力発信セミナーを開催(H24.11)
- 航空機内映像による観光情報PR(H24.7 JAL国内線)

### ＜とがち観光を北海道に売り込む＞

- 19市町村で構成する「とがちな魅力発信プロジェクト推進協議会」を設立（道央圏に向けた各種PR事業を実施）
  - H23～ さっぽろオータムフェスト出展
  - H23.3 札幌駅前通地下歩行空間の開設時にイベント開催)
- 十勝平原サービスエリアに「とがち観光物産ブース」を設置（H24.6～10 道東道の利用者への観光物産PR）
- とがち平原miniマルシェに出展(H24.5～ 十勝平原SA)
- フードバレーとがちフェスティバルの開催(H24.10)

### ＜食によるまちづくり交流＞

- 富士宮市と「フードバレーに関する共同声明」(H22.8) 物産交流の実施(H24.11～ とがち物産センター、朝霧フードパーク)
- 福井県小浜市の道の駅で十勝の商品を販売（H23.10～ 十勝野フロマージュ、しんむら牧場他）

### ＜フードバレーとがちで企業と生産者等を結ぶ＞

- ビジネスマッチングの開催
  - ・十勝管内地元マッチング(H23.2)（商品開発に係る10件のマッチング。4件が試作開始）
  - ・パイヤーと交流（懇親会）を含めた商談会(H24.8)
  - ・提案型商談会の開催(H24.11) など
- 首都圏私学との連携

### ＜企業へ成長資金を提供する＞

- ニューフロンティア資金の提供(7件 54,400千円)
  - H23: 乾燥野菜加工設備、十勝産小麦を使用したクッキー製造設備
  - H24: 太陽光発電設備、乾燥野菜製造設備、パン製造設備等

### ＜期待の小麦の新品種をひろめる＞

- ベーカーリーキャンプの開催(プロ向けパン講習会等)
- 地元パン職人等で構成する「十勝パンを創る会」設立（H23.12 十勝産小麦を使用した製パン技術の向上）
- 生産者、飲食店、食品加工業者、消費者などで構成する「十勝小麦・小麦粉連合」設立(H23.11 小麦流通の検討)
- キリンビール、音更町と連携した十勝産小麦PRPR「S&P

- シンガポールからの十勝滞在型ツアー造成(H24 198人)
- マレーシアから十勝滞在型ツアー造成(H24 34人)
- 中国（上海、北京）、シンガポールでの旅行博覧会に出展（H24）